

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 6年 1月 15日

事業所名 それいゆ療育センター佐賀

保護者等数（児童数）27名 回収数 13名 割合 48%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	85%	15%				当事業所では厚生労働大臣の定める基準の広さを準備しております。室内の各活動場所の広さについては定期的に見直ししながら適切な広さの確保に努めていきたいと思っております。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	92%	8%				当事業所では厚生労働大臣の定める基準を遵守し職員を配置をしています。必要に応じて基準以上の職員を配置しているクラスもございます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	100%					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	85%	8%		8%		児童発達支援ガイドラインに基づいて児童発達支援計画を作成しております。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%					
	⑧	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	92%	8%				お子様の障害の特性や課題等に応じて個別のプログラムや集団でのプログラムを検討しております。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15%	8%	31%	46%		特性上、優先する課題があるため行っておりません。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	85%	8%		8%		契約時にご説明させて頂いておりますが、丁寧でわかりやすいご説明が出来るように一層心がけてまいります。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	92%			8%		児童発達支援計画は児童発達支援ガイドラインに基づいて作成しております。支援会議時にご説明させて頂いております。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	54%	31%		15%		保護者交流会の際にも、障害特性やお子様への適切な対応についてのお話などもさせて頂いております。来年度もご案内を配布しますのでご都合がつかれたらご参加ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	92%	8%				年に3回程度支援会議を開催しております。今後とも相談に対応できるように努めてまいります。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	62%	23%		15%		年に3回程度保護者会を開催しております。保護者会のご案内は年度初めに配布しております。事業所内にも常時掲示しております。ご都合がつかれましたらご参加ください。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	92%			8%		年に3回程度支援会議を行っており、会議の中で詳しい内容のご相談にも対応させていただいております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	62%			38%		現在、個人情報に配慮し、ホームページでの活動報告等は行っておりません。行事予定などはお便りを配布しております。業務に関する自己評価については、毎年ホームページに結果を公表しております。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100%					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	54%	8%		38%		非常時等のマニュアルの策定については契約時にお伝えしており、各マニュアルは事務局に整備しております。今後とも保護者様をご確認しやすい場所への設置を検討し周知に努めます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	38%	8%		54%		定期的に避難訓練を実施しておりますが、ご利用日や時間によって該当しないクラスもあります。可能な限り全てのクラスで訓練が実施できるよう計画していきたいと思っております。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100%					

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。